

令和7年度 年間指導計画・評価規準

学年	3	教科	家庭科
----	---	----	-----

1. 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	・幼児との関わりや家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関りについて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

2. 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1	4	幼児の生活と家族	6	幼児の頃と今の自分	・ 幼児の身体や心の発達の特徴について理解している。(知) ・ 幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。(思) ・ 幼児との関わり方について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(主)
	5			幼児の体の発達	
	6			幼児の心の発達	
	7			発達にとっての大人の役割	
2	9	幼児の生活と家族	8	遊びが必要な理由	・ 幼児にとっての遊びの意義や子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。(知) ・ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。(知) ・ 幼児との関り方について解決策を考え実践し、評価・改善して考察したことを論理的に表現している。(思) ・ 幼児との関わり方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。(主)
	10			遊びを支える環境	
	11			幼児との関わり	
	12			子どもの成長と地域	
3	1	持続可能な社会	3.5	・ 消費行動が社会や環境に与える影響 ・ 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造	・ 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。(知) ・ 自立した消費者としての消費行動について問題を発見して課題を設定している。(思) ・ 社会や環境について課題の解決に主体的に取り組んだり振り
	2	幼児とのふれあい体験 3年間を振り返って			
	3				

令和7年度 年間指導計画・評価規準

			・ふれあい体験の前に ・ドキドキワクワクふれ合い体験	返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。 ・幼児とのかかわり方について 身につけた基礎的・基本的な知識を活用し、工夫することができる。
--	--	--	---	---